

## コキクガシラコウモリ

学名	Rhinolophus cornutus Temminck		
目名	翼手目		
目名学名	CHIROPTERA		
科名	キクガシラコウモリ科		
科名学名	Rhinolophidae		
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：掲載なし	水産庁：



## [選定理由]

生息洞の消滅,洞内照明の積極化,洞内人為利用の推進などにより生息環境の悪化が懸念される。

県内分布	県内全域の自然洞,人工洞,暗渠
分布域	北海道,本州,四国,九州(長崎・佐賀・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島),伊豆諸島,対馬,奄岐,福江島,屋久島,奄美諸島,沖永良部島
世界的分布	
生息環境	河川,小丘陵,森林,草原などで採餌。営巣環境として岩裂,自然形成洞,人為造成洞,暗渠などを必要とする。
現状	戦時中の防空壕が埋戻され,石灰洞は掘削され,鍾乳洞は人為的照明が取付られるなど生息環境の悪化が県下全域で進行中である。このため,従来の生息利用洞内でも個体数が減少している。
備考	日本固有種の可能性が高い(中国東部にも同一種が分布する疑いがある)。